

横浜市民生委員推薦会会議録	
日 時	令和5年10月27日（金） 午前10時00分～11時00分
開催場所	市庁舎15階 調停委員会室
出席者	石内委員長、成田副委員長、武田委員、梁田委員、碓井委員、赤川委員、内田委員、菊池委員、木宮委員
欠席者	なし
開催形態	非公開
議 題	民生委員・児童委員及び主任児童委員候補者の推薦 1 選出の手続きの説明 2 民生委員・児童委員候補者の審議 3 主任児童委員候補者の審議
決定事項	1 選出の手続きの説明（資料1～資料7） 手続、日程、要綱等、状況について 2 民生委員・児童委員及び主任児童委員候補者の推薦 (1) 民生委員・児童委員候補者の審議（資料8） 全員（45名）を適任と認め、令和5年12月1日付委嘱候補者として市長に推薦することとする。 (2) 主任児童委員候補者の審議（資料9） 全員（7名）を適任と認め、令和5年12月1日付委嘱候補者として市長に推薦することとする。
特記事項	《主な意見》◎委員 ○事務局 ◎充足率が高い区は何か取り組んでいるのか。 ○一斉改選や欠員補充の前から地区民児協会長・自治会長が早めに候補者の人選をしている地区もある。早めの準備が功を奏しているのではないか。 ◎最近仕事している方が多いが、今後民生委員も常勤の方が増えていくのか。

○常勤が特別なことではなく、働きながら民生委員活動に取り組める環境を整えていきたい。

◎時間を有効活用し、職場の理解が得られれば、常勤であっても活動可能だと考える。

◎PTA 委員も働きながら活動している方が多い。PTA 活動が終わると自治会の活動に移行する傾向にある。

◎民生委員の推薦の際に常勤かチェックするのは、時代にそぐわない。民生委員ができない部分は町内会が補えばよい。負担が大きい部分は相互に助け合うことが必要。

◎日中活動時間に制約がないか確認するために、常勤の方については補足説明を付けていると思うので、今後は、「日中活動に制約がある人は補足説明をしている」とした方が分かりやすいのではないか。

○いただいた意見を整理し、反映できるかどうか検討する。

◎主任児童委員の年齢要件を 54 歳から引きあげた方が良いのではないか。

○年齢要件よりも、活動の支援や担い手確保に取り組む必要性が高いと考えている。

◎障害者のことを理解できる民生委員がもっと増えたらよいと思う。

○新しく民生委員に委嘱されたときに、市全体・区ごとに実施している研修の資料に、福祉制度等について掲載しているが、障害者に関連した民生委員活動についても記載し、理解を深めていただいている。また、地域の災害時要援護者支援の活動についても、民生委員に協力してもらっているので、そういった活動をとおして理解をしていただいていると考える。